

建築インターンシップ(Off-Campus Practical Training in Architecture)

担当教員名	A 全	
学科・専攻, 科目詳細	建築学科 4年 通年 2単位 実習	
学科のカリキュラム表	専門科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 実務系	
学習・教育目標	共生システム工学	E-1(40%) G-2(60%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)(h)
科目の概要	主として建築関連の一般企業または官公庁、大学、NPOなどでの技術体験を通じて、社会の中での技術者としてのあり方を学ぶ。また、体験で得た成果を学習に活かすことが本科目の狙いである。実習は実働10日以上、及び80時間以上とする。本科目の学習・教育目標は次の3点である。 (1) 実習先の企業等での活動を体験すること (2) 配属された職場で協調して活動できること (3) 体験的に学んだ事柄をスライドなどを用いて、効果的に報告出来ること	
テキスト(参考文献)	なし	
履修上の注意	建築インターンシップ要領を熟読し、4年生担任と緊密に連絡を取り合うこと。期間中は、積極的に技術等の習得に努めるとともに、服装、言葉使い等、建築インターンシップ生に相応しいものであること。	
科目の達成目標	主として建築関連の一般企業または官公庁、NPOなどでの技術体験を通じて、実践的技術感覚を会得すること、社会の中での技術者としてのあり方を学ぶ。そして、技術体験で得た成果を学習に活かすことが本科目の狙いである。目標は次の2点である。 (1) 実習先の企業等で協調的に活動し、実際の技術活動の一部を体験すること。(G-2) (2) 体験的に学んだ事柄を視聴覚教材などを用いて、効果的に報告出来ること。(E-1)	
自己学習	インターンシップ先での実習時間80時間の他に、報告会での発表の準備、報告書、感想文の作成など。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	その他
	達成目標(1)は次の2点で評価する。 ・実習先から提出される「建築インターンシップ証明書」を参考に30点満点で評価する。 ・建築インターンシップ生が提出する「報告書、日誌、感想文などの書類内容により30点満点で評価する。 (2)は次の点で評価する。 建築インターンシップ報告会での報告内容を40点満点で評価する。そして総合点が60点に達した場合に単位を与える。 建築インターンシップは前期・後期通算80時間以上とする。建築インターンシップ終了後には、別途指定する業務日誌と一連の作業を総括した報告書を提出させる。また、建築インターンシップ報告会において、実習内容などの成果を報告させる。詳細は、学生生活の手引きを参照されたい。	
連絡先	shoji@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容

第1週 ガイダンス(履修上の注意・インターンシップ先でのマナーなどの注意点)

第2週

第3週

第4週

第5週

第6週

第7週

第8週

第9週

第10週

第11週

第12週

第13週

第14週

第15週

期末試験実施せず

授業の計画・内容
第16週
第17週 建築インターンシップ報告会（後期の適当な時期に行う）
第18週
第19週
第20週
第21週
第22週
第23週
第24週
第25週
第26週
第27週
第28週
第29週
第30週
期末試験実施せず